

[TOP page](#)
[資料室](#)
[イベント情報](#)
[講師を探す](#)
[Worker's 広場](#)
[関連リンク](#)

## 資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [組織活動](#) | [労働基本権と労働組合（その誕生）](#) ②

[労働組合](#)
[労働者福祉・共済](#)
[一般教養](#)
[組織活動](#)
[組織運営と法律](#)
[労働安全衛生](#)
[経営対策活動](#)
[教育・宣伝活動](#)
[労働時間をめぐる諸問題](#)
[教育活動](#)
[選挙活動](#)
[組合組織（公務員）](#)
[教育カリキュラム](#)
[▶ キーワード検索はこちら](#)

### 労働基本権と労働組合（その誕生） ②

したがって、労働条件向上・安定及び労働時間短縮の歴史は、労働運動の歴史でもあります。そして、労働法の萌芽は英国の「年少者の健康並びに道徳法」にみる事ができます。この法律によって、幼年工の労働時間が12時間に制限されました。

#### 労働基本権制定の前史 <労働法の成り立ち（歴史）・主に労働時間の短縮に見る>

- 1802年 (英) 工場法の起源（幼年工の就業時間の制限）
- 1819年 (英) 工場法制定（9歳以下の雇用禁止、9歳～16歳の12時間労働へ）**
- 1833年 (英) 工場法改正（**工場監督制度**、9歳～13歳：9時間労働、18歳以下12時間）
- 1839年 (独) 工場法制定**
- 1840年 (仏) 工場法制定**
- 1844年 (英) 工場法改正（8歳～13歳の労働時間6時間30分へ、女性12時間へ制限）
- 1847年 (英) 工場法改正（女性・未成年者一日最長10時間以内に制限）
- 1856年 (豪) 8時間労働協約（メルボルンの建築職人）**
- 1866年 (労) 第一インターナショナル（国際労働者協会）：8時間労働制を決議**
- 1867年 (米) 8時間労働法（イリノイ州他→実効性なしの宣言）
- 1867年 (英) 工場法全産業（50人以上の事業場）に適用10時間労働
- 1868年 (米) 連邦公務員8時間法（裁判で無効となる）
- 1873年 (NZ) 8時間法（女性） → '91年全労働者へ適用
- 1874年 (豪) 8時間法（女性） ビクトリア州
- 1874年 (仏) 工場法（児童6時間、少年12時間、監督官制度確立）
- 1886年 (米) 労働時間8時間制運動（シカゴ・デモ、ハイマーケット事件）
- 1889年 (労) 第二インター（メーデーで決議：90年第一回メーデー）
- 1891年 (独) 帝国営業法（少年7時間、女性9時間）
- 1892年 (米) 連邦公務員；8時間法（1903年合憲判決）
- 1897年 (ロ) 労働時間法（全労働者：平日11.5時間）
- 1905年 (仏) 炭鉱労働者：8時間法
- 1908年 (英) 炭鉱労働（坑内）：8時間法
- 1911年 (日) 工場法制定（12時間労働：施行16年）**
- 1914年 (米) フォード工場8時間労働制
- 1915年 (米) 鉄道、8時間連邦法
- 1917年 (ロ) 8時間制（18年労働法典）
- 1918年 (独) 8時間法（23年改正：全労働者）
- 1919年 (仏) 8時間法（週48時間：全労働者）
- 1919年 (国) ILO創設 第1号条約（8時間労働制）**

このように歴史は、人たるに値する生活・労働時間の達成と貧困からの脱却を求め労働運動、社会運動が進められました。そして、**1919年、ドイツにおいて**世界で初めて、労働者の生きる権利として**労働基本権が「ワイマール憲法」**に制定されました。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

**Worker's Library 会員登録**  
お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

[🔍 サイトマップ](#) [🔍 このサイトについて](#) [🔍 個人情報保護の取組みについて](#)

[🔍 ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

**Worker's Library** 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.